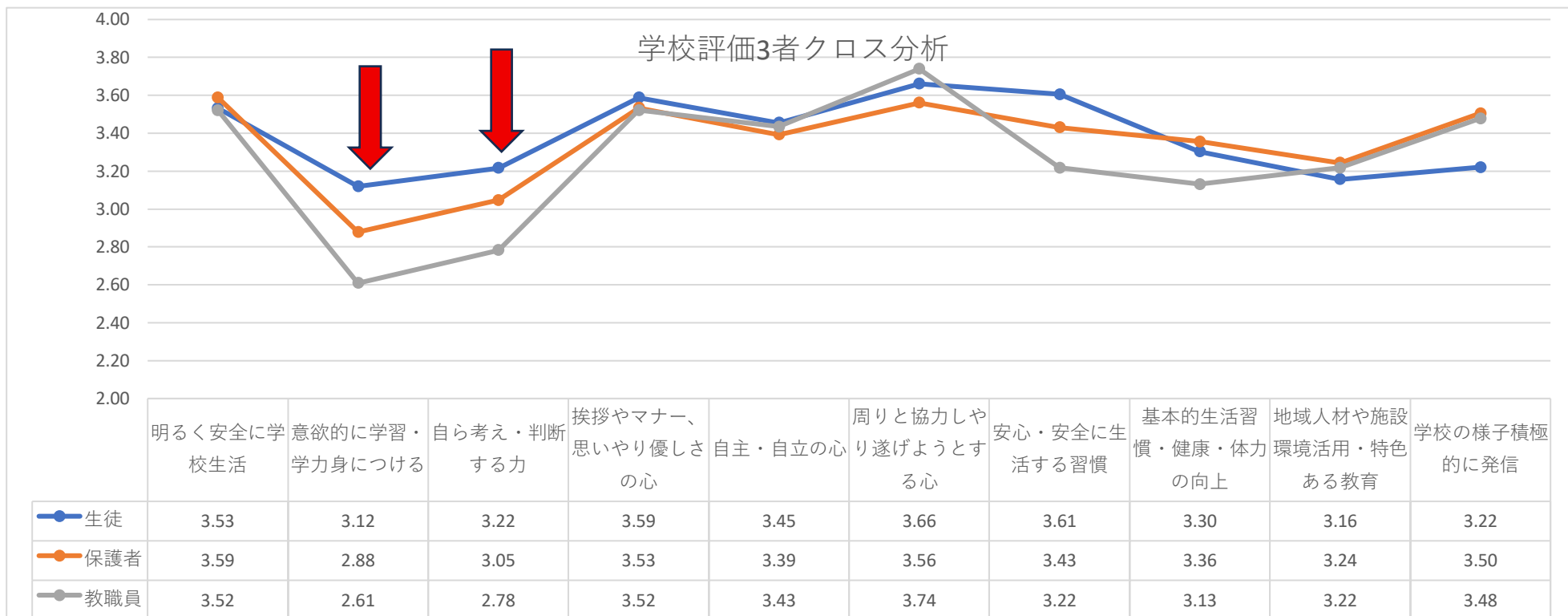


令和7年度 学校評価 速報7/9



時期	学校評価クロス分析	明しく安全に学校生活	意欲的に学習・学力身につける	自ら考え・判断する力	挨拶やマナー、思いやり優しさの心	自主・自立の心	周りや協力しやり遂げようとする心	安心・安全に生活する習慣	基本的な生活習慣・健康・体力の向上	地域人材や施設環境活用・特色ある教育	学校の様子積極的に発信
R6後期	生徒	3.55	3.12	3.22	3.59	3.45	3.66	3.61	3.30	3.16	3.22
R7前期		3.52	3.10	3.23	3.59	3.41	3.57	3.61	3.38	3.14	3.24
R6後期	保護者	3.54	2.76	3.03	3.55	3.32	3.45	3.39	3.16	3.08	3.17
R7前期		3.59	2.88	3.05	3.53	3.39	3.56	3.43	3.36	3.24	3.50
R6後期	教職員	3.58	2.95	2.95	3.63	3.42	3.68	3.26	3.21	3.42	3.68
R7前期		3.52	2.61	2.78	3.52	3.43	3.74	3.22	3.13	3.22	3.48

●昨年度後期と比較

- ・傾向としては、昨年度とあまり変わらない評価となっています。
- ・3者とも近似の評価となっており、現在の本校の実態をある程度正確に反映していると言えます。

【生徒】生徒の入れ替わりはありますが、数値にほぼ変化はありませんでした。「協力しやり遂げる心」の数値の若干の下降が気になります。

【保護者】ほぼ全ての項目で数値が上昇しています。特に「基本的生活」と「学校の様子の発信」の数値が高くなっています。新一年生保護者中心に、まだはっきりと評価できる材料がないため、「良い評価」となっているのかもしれませんが。

【教職員】学力面の評価と地域活用、学校の様子の発信が大きく下がっています。教職員の入れ替わりによる数値の変化もあると思いますが、多くの教員が学力や授業に対する危機感をもっているのではないかと推測します。授業改革、主体的に学ぶ力や自ら考え判断する力の向上が急務と言えます。